科目名　**アクアバイオ学特論(二)（２単位）**

担当者氏名　白井　滋、谷口　旭、塩本　明弘、渡邉　研一、小林　万里

◆学習・教育目標

海の生態系は今後、温暖化などの影響を受けて大きく変わっていく可能性がある。この変動を正確に捉えることは、水産業への影響を正しく予測するうえで不可欠である。このためには、生態系内における物質やエネルギーの循環についての知識は当然のこと、環境変動に伴う物質やエネルギー循環の変動についての知識を習得することが肝要である。本特論では、とくに氷海における環境変動が生態系内の物質とエネルギーの循環に及ぼす影響について講義する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境変動	魚病	水産動物	海生哺乳類

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テ　ー　マ	内　　容	授業のねらいまたは準備しておく事項
１～４回	環境変動と水産動物	環境変動が、水産動物に及ぼす影響について、最近の研究論文を紹介・解説する。（白井　滋）	
５～８回	氷海の環境変動	外洋域、特に氷海域における環境変動について、最近の研究論文を紹介・解説する。（塩本　明弘）	
９～12回	環境変動と魚病	環境変動が魚病に及ぼす影響について、最近の研究論文を紹介・解説する（渡邉　研一）	
13～15回	海生哺乳類と環境変動	環境変動が海の高次捕食者である海生哺乳類に及ぼす影響について最近の研究論文を紹介・解説する。（小林　万里）	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

◆その他受講上の注意事項